

歴代会長

初代	田中 基次郎	昭和39年～昭和49年 (1964年～1974年)
二代	渡辺 弘	昭和49年～平成 3年 (1974年～1991年)
三代	罔澤 柳太郎	平成 3年～平成 7年 (1991年～1995年)
四代	田中 栄一郎	平成 7年～平成12年 (1995年～2000年)
五代	佐久間 栄次	平成12年～平成14年 (2000年～2002年)
六代	鈴木 とよ子	平成14年～平成23年 (2002年～2011年)
七代	的場 弘	平成23年～平成26年 (2011年～2014年)
八代	高橋 美佐子	平成26年就任 (2014年～)

町会のあゆみと行事

昭和39年(1964年)、町名変更の大きな流れの中で歴史的地名も南台に統合、当町会は新山通り三丁目町会から「南台四丁目西町会」として発足しました。町会エリアは、中野区の最南端、渋谷区と杉並区とに接し、新山通りを尾根筋に左右に斜面を振り分けるような形になっています。かつては地域の暮らしを支える食料品や日用品などを扱う多くの商店が連なった活気のある新山通りでしたが、その多くは住宅に変貌しました。現在も、宅地の細分化による戸建や中高層の住宅も増えており、世帯数は増加傾向にあります。

しかし、全体としては役員の高齢化もあり、組織の簡素化と規約の改正を進め、行事の進め方も見直しを図りました。平成28年度は盆踊り・縁日など多くの人が心待ちにしている季節行事の実施にあたり、子ども会やPTAへ積極的に参加を呼びかけ、新しい発想の企画を実現することができました。この結果、家族ぐるみの参加者も増え、だれもが楽しさを満喫、充実した地域交流行事となりました。大切なのは、まずは協力者のみなさんと共に楽しい経験を共有する、このことが元気の町会を次代につなげることになる、このような認識を持つことができました。なお、行事で使用する電球は順次LEDに交換する方針です。

私たちのまち「雑色」の歴史と記憶を大切に

町会地域のほぼ中心に位置する庚申塚は、一本松と呼ばれ親しまれており、手を合わせる若い人の姿も見受けられます。現在の一本松は庚申塚の碑と地蔵尊が祭られていますが、昭和20年5月25日の空襲で焼失、戦後の昭和25年、篤志家のみなさんにより再建されたものです。

秋の庚申祭には、宝福寺の住職にお経をあげていただいておりますが、近年、関係者の高齢化などにより祭礼を簡素にしましたが、今なお有志の皆様により大切に維持されています。「中野町誌」(昭和8年)によれば「西国の武士三名がこの地で切腹」、供養のため明和年間(1761年～)「雑色村の古老が協力してこの地に道祖神と地蔵をまつた」との伝承があります。

これから

最大の地域課題は必ず来る大地震への対策です。新山小学校統廃合後の指定避難所の存続も心配です。最近では、管理者不明の「民泊」も出現するなど不安材料もありますが、今後は会員だけでなく広く地域住民に向けて広報を行い、町会加入を促進することで持続可能な元気の町会を目指していきます。

<地域交流事業>

盆踊りと縁日「歳末たすけあい運動～地域活動いきいき募金～」の配分金を受けて実施しています。



納涼盆踊り大会